AEDはフクダ電子

AED(自動体外式除細動器)

ハートスタートHS1 HEARTSTART HS1

医療機器承認番号:21700BZY00426000





AEDで、ひとりでも

様々な場所で起こり得る 突然の心停止。

突然の心停止は様々な国で主要な死亡原因の一つとなっています。日本において突然の心停止発生者数は年間6万人以上とも言われており、多くの大切な命が失われています。突然の心停止の主な原因は、心室細動 (VF) と呼ばれる心臓が痙攣したような状態になることです。このような状態に陥ると、早急に処置を行わなければ数分以内に死に至ります。その心室細動に対する最も有効な治療方法は除細動。つまり除細動器による電気ショックです。突然の心停止が発生してから5分以内に除細動(電気ショック)を行うことにより救命率を大幅に向上させることが出来ます。





AED(自動体外式除細動器)

ハートスタートHS1
HEARTSTART HS1

多くの命を救えたら。

操作する人の目線から開発されたAED!

突然の心停止から命を守る、ハートスタートHS1。

パートスタート 5大特長

1

クイックショック機能 *1

胸骨圧迫の中断時間は最小が望ましいとされています。(AHAガイドライン2010) フィリップス AEDは8秒以内にショック実行可能です!!

2

使用者の操作スピードに合わせた 音声ガイダンス

> 初めて使用する方を想定し、 1つ1つの手順を丁寧にアナウンス。 使用者の目線に立ったAEDです。

3

軽量・コンパクト

ハートスタートHS1は バッテリを含めてわずか1.5kg。 緊急時、現場への 持ち運びが容易です。 (4

パッドカートリッジ式

本体と一体型の為、 余計なコードが 外に出ない。 -(5

心肺蘇生法 コーチング搭載

iボタンで胸骨圧迫の リズム・人工呼吸の タイミングをアナウンス。 救命率向上をサポートします!



ハートスタートHS1 製品仕様

| 除細動 | | |
|--------------|------------------------------------|--|
| 販売名 | ハートスタートHS1 | |
| 型式 | M5066A | |
| 製品構成 | HS1本体、ユーザーズガイド、バッテリ、キャリングケース | |
| | 成人用パッド・カートリッジ、クイック・リファレンス・ガイド | |
| 波形 | 二相性切頭指数型波形。 | |
| | 波形パラメータは傷病者胸郭インピーダンスに応じて自動的に調整。 | |
| エネルギー | 定格150J | |
| ※1 クイック・ショック | 胸骨圧迫と人工呼吸のための時間終了後、 | |
| | 8秒以内(代表値)にショック実行可能 | |
| 音声メッセージ | ユーザーに使用法を詳しくガイドする音声メッセージ | |
| 胸骨圧迫と人工 | 胸骨圧迫の深さや回数、リズムと人工呼吸の回数、 | |
| 呼吸の音声ガイド | タイミングを音声でガイド | |
| 通電 | 除細動パッドによる通電。 | |
| | パッド記載の絵に従って除細動パッドを装着。 | |
| コントロール | パッド・カートリッジ・ハンドル、電源ON/OFFボタン、i-ボタン、 | |
| | ショック・ボタン | |
| インジケータ | 使用準備完了ランプ、i-ボタン、注意ランプ | |

| 寸法/質量 | |
|-------|-----------------------------|
| 寸法 | 7×21×19 cm (高さ×幅×奥行き) |
| 質量 | バッテリおよびパッド・カートリッジ装着時:1.5 kg |

| 固形物体/液体の | 固形物体:EN60529 class IP2X |
|--------------|------------------------------------|
| 侵入に対する保護 | 液体:EN60529 class IPX1 |
| 温度 | 動作時:0~50℃ |
| | スタンバイモード:10~43℃ |
| 湿度 | 動作時:相対湿度0~95%(結露なし) |
| | スタンバイモード:相対湿度10~75% (結露なし) |
| 高度 | 動作時:0~4572 m |
| | 保管時:0~2591m、48時間未満であれば0~4572m |
| 耐衝擊性 | 1mの高さから落下させた場合の縁、角、面への衝撃 |
| 耐振動性 | 動作時:EN1789準拠 |
| EMI (エミッション/ | EN55011 Group 1 Level B Class Bおよび |
| イミュニティ) | EN61000-4-3準拠 |

| 解析システム | |
|-----------|---|
| 傷病者解析 | 傷病者の心電図を評価してショックが必要な調律かどうかを判定。 ショック適応調律は、心室細動(VF)および一部の心室性頻拍(VT)。 安全のために、振幅や周波数が低すぎる調律はショック適応な調律 と判断されない場合がある。 |
| 感度/特異性 | 成人の除細動に関するAAMI DF80のガイドラインおよびAHAの 推奨に準拠(Circulation 1997;95:1677-1682)。 |
| アーチファクト検出 | ペースメーカや電気的ノイズによるアーチファクトの影響はアーチファ クト検出により最小限に抑えられる。 |

| タイプ | 9VDC、4.2Ah、ディスポーザブル、長寿命、 |
|---------|-----------------------------------|
| | リチウム二酸化マンガン電池、一次電池 |
| 容量 | 200回のショックまたは4時間の動作 |
| 使用開始期限 | 貼付された期日までに使用を開始 |
| スタンバイ期限 | 代表値4年間(バッテリ装着テスト1回実施後、ハートスタートHS1を |
| | 使用せず、推奨保管温度で保管した場合) |

| SMART | M5071A除細動パッド | M5072A除細動パッド |
|-----------|--|-----------------|
| パッドカートリッジ | THOU TO A PARTIE OF THE PARTIE | (対象:未就学児) |
| 製品構成 | ディスポーザブル・カートリッジ | ディスポーザブル・カートリッジ |
| | (除細動パッド内蔵) | (除細動パッド内蔵) |
| 有効表面積 | 各85 cm² | 各85 cm² |
| ケーブル長 | 137.1 cm | 101.6 cm |
| 使用期限 | カートリッジに記載 | カートリッジに記載 |

| 自動/バッテリ装着セルフテスト | |
|-----------------|--|
| 毎日の | 内部回路、波形出力システム、 |
| 自動セルフテスト | パッド・カートリッジ、バッテリ容量テスト |
| パッドテスト | パッドの使用準備状態をテスト(粘着ジェルの水分量) |
| バッテリ装着テスト | バッテリ装着時に、自動セルフテストおよびユーザー対話型テストで機器 状態をチェック |
| ステータス・ | 点滅する緑の使用準備完了ランプはHS1が使用可能な状態かを |
| インジケータ | 示す。ビープ音が出力された場合は保守が必要なことを示す。 |

| データ記録、データ転送(オプション) | |
|--------------------|--------------------------------|
| 赤外線通信 | IrDAプロトコルを使用してイベント・データをPCへ無線転送 |
| データ記録 | 15分間の心電図および症例全体のイベントと解析結果 |

[・]製品の使用法の詳細については、ハートスタートHS1取扱説明書をご覧ください。すべての仕様は他に記載のない限り、 25℃の温度環境下における値です。ハートスタートHS1およびアクセサリにはラテックスを含む材料を使用していません。

ハートスタートHS1の性能を最大限に生かす各種サプライ/アクセサリ

キャリングケース



ウォータープルーフケース

寸法:34cm(幅)×30cm(高さ)×15cm(奥行き)

定期交換品·消耗品



M5070A ロングライフバッテリ

容量:200回のショックまたは4時間の動作 スタンバイ期限:代表値4年



M5071A 成人用パッドカートリッジ

医療機器届出番号 13B1X00221000048 使用期限:カートリッジに記載



M5072A 小児用パッドカートリッジ

医療機器届出番号 13B1X00221000049 対象:未就学児 使用期限:カートリッジに記載

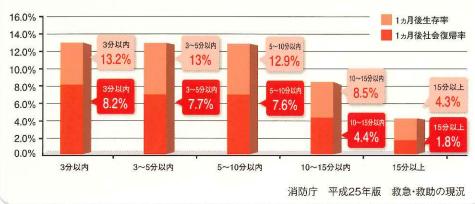
- 小児等への適用-

●未就学児の小児に対して成人用の除細動エネルギーを印加することについては、小児用にエネルギーを減衰できる機構を持った自動体外式除細動器が近くにないなど、やむをえない場合に限り使用すること。●小児に使用する場合には2枚の除細動パッドが触れ合うことのないよう注意すること。●JRC(日本版)ガイドライン2010では、未就学児(およそ6歳)以下の小児への使用を推奨しています。

多くの命を救えたら。

心肺蘇生は早期実施が有効

目撃のあった時刻から救急隊員が心肺蘇生を開始した時点までの 時間区分ごとの、1ヶ月後生存率及び社会復帰率(8ヵ年合計計算)



2004年7月1日より医師や救急救命士だけでなく、現場に居合わせた一般市民もAED(自動体外式除細動器)の使用が出来るようになりました。これにより学校や公共施設、一般企業などに多くのAEDの普及が進み、救命事例も数多く報道されるようになりました。

ついには救命率(1ヶ月後生存率)が5%以下であったものが約4倍に向上し、その効果が実証されたと同時に、より一層の救命率向上が期待されています。また、胸骨圧迫の重要性が2005年より、世界的ガイドラインに記述されており、発見者による胸骨圧迫とAEDの組合せが重要視されています。

フィリップスのハートスタートHS1は、その操作と心肺蘇生法コーチング機能による胸骨圧迫と人工呼吸、小児への対応など処置をサポートいたします。